

研究主題 生活を豊かにするために工夫する力を育てる問題解決的な学習指導の工夫
—第2学年「エコバックをつくろう」における言語活動の充実を通して—

1 題材名 「エコバックをつくろう」

2 題材の目標

- ・布を用いた物の製作について関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。 (生活や技能への関心・意欲・態度)
- ・布を用いた物の製作について課題を見付け、その解決を目指して自分なりに工夫したり新たな方法を考えたりすることができる。 (生活を工夫し創造する能力)
- ・布を用いた物の製作について計画を立て、製作することができる。 (生活の技能)
- ・布を用いた物を製作するために必要な基本的な知識を身に付けることができる。 (生活や技術についての知識・理解)

3 題材について

(1) 題材観

物が豊富な現代社会では、既製服を購入し生活することがほとんどである。最近では、手作りの服やセーターはあまり見かけなくなっている。生徒自身も流行に合わせて既製服を選んで購入しているの、どのような形の布が、どのように縫製して出来上がっているか分からない生徒も多い。本教材である「エコバック」は、スーパーマーケットにおけるレジ袋有料化が完全実施され、環境に配慮した生活の中では必要な物となっている。そこで、身近な衣服の材料である布を用いて生活に役立つ「エコバック」の製作を通して、自分や家族の生活をより豊かにするための工夫ができるようにさせたい。

(2) 生徒の実態

本校の生徒は、ものづくりに大変意欲的に取り組む生徒が多い。食に関しては、学習後に家庭で調理を行う生徒も多い。しかし、衣生活や住生活においては、製作した作品を家庭生活で活用する生徒が少ない。また、考えたことや分かったことなどを自分でまとめ、進んで発表することに消極的な生徒も多い。

1 家庭科の授業や家で製作したものを活用していますか。	はい15名、いいえ20名、無回答4名
2 布を使ってものづくりをした時役立つものは何ですか。	エコバック14名 小物入れ11名、ランチョンマット4名、無回答9名
3 家庭科で考えがまとまりやすいのはどの活動ですか。 (複数回答)	班で話し合ってからまとめる18名、 実習や実験、体験からまとめる14名 資料などを活用して班でまとめる13名、資料などを活用して自分でまとめる9名
4 家庭科で発表しやすいのはどの活動ですか。 (複数回答)	班で発表する19名、先生に指名される17名、発表原稿を書いて発表する10名 模造紙やパソコンでまとめて発表する9名 手を挙げて自分から発表する4名

(第2学年〇組 男子20名、女子19名、合計39名 平成〇年〇月アンケート実施)

(3) 研究主題に迫るための手立て (指導観)

本題材では、問題解決的な学習を行うことで、生徒が自分なりの課題をもって製作に取り組み、生活を豊かにするための工夫ができるようにしたいと考える。また、問題解決的な学習における計画、実践、評価、改善という一連の学習活動を大切に、製作の「はじめ・なか・おわり」には、班での話し合い活動をそれぞれ取り入れ、言語活動を通して表現力の向上を図りながら、主体的に考え、自分の思いを基に作品に工夫できる力を育てたいと考える。製作後は、家庭で活用し、使ってみての感想などの報告会を行うことで、実践から自分の作品と友達の作品を比較し、さらに課題をもつことができるようにしたい。

4 題材の評価規準

生活や技術への関心・意欲・態度	布を用いた物の製作に関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。
生活を工夫し創造する能力	布を用いた製作に課題をもち、その解決を目指して自分なりに工夫したり新たな方法を考えたりしている。
生活の技能	布を用いた物の製作について計画を立て、製作することができる。
生活や技術についての知識・理解	布を用いた物を製作するための基本的な知識を身に付けている。

5 指導計画

(1) 全体計画 (11 時間扱い)

第1次 「エコバックをつくろう」の計画を立てよう・・・2時間

第2次 「エコバックをつくろう」・・・8時間

- ・製作・・・(4時間)
- ・中間検討会・・・(1時間)
- ・製作・・・(3時間)

第3次 「エコバック活用報告会」をしよう・・・・・・・・・・1時間（本時）

(2) 本時にかかわる指導計画及び評価規準（本時はその第11時間）

時	指導内容	学習活動	主な手立て	観点別評価規準（観点）	十分満足できる状況（A）と判断できるための視点
2	エコバック 製作計画	・身近にあるエコバックを調べる。 ・製作の計画を立てる。	・話し合い（はじめ） ・ポートフォリオ	・身近にあるエコバックに関心をもち、進んで学習に取り組むことができる。<関（ポートフォリオ・観察）>	・様々なエコバックに関心をもり、進んで制作計画に取り入れようとしている。
8	エコバック 製作	・エコバックを製作する。 （4時間） ・エコバックの仕上がりを確認する。 （1時間） ・エコバックを仕上げる。 （3時間）	・ポートフォリオ ・作品見本 ・拡大模型 ・話し合い（なか）	・目的とする作品を製作することができる。 <技（観察・ポートフォリオ・作品）> ・課題をもって、工夫した作品を製作することができる。 <創（観察・ポートフォリオ・作品）> ・製作に必要な基本的な知識を身に付けることができる。 <知（観察・ポートフォリオ・作品）>	・既習事項を踏まえて、効率よく安全に製作することができる。 ・課題をもって、目的に合う工夫した作品を製作することができる。 ・既習事項を活用し、製作に必要な知識を製作に活かすことができる。
1	エコバック 活用報告会	エコバックを実際活用した結果 や考察を報告する。	・ポートフォリオ ・話し合い（おわり）	・エコバック製作の工夫点や改善点を考えることができる。 <技（ポートフォリオ・発表・観察）>	・エコバック製作の工夫点や改善点を考え、今後の課題をもつことができる。

6 本時の学習

- (1) 目標 エコバック活用報告会を通して、エコバック製作の工夫点や改善点について考えることができる。
- (2) 準備・資料 製作品（エコバック） ポートフォリオ 報告プリント 付箋紙
- (3) 展開

学習内容及び活動	教師の指導と評価
<p>1 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>エコバックの報告会をしよう。 ～作品のよさや改善点を見つけよう～</p> </div> <p>2 各班で買い物報告会を行う。 <発表者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・製作したときの感想や工夫点。 ・買い物をした時のエコバックの強度や持ちやすさ。 ・どんなものを買うのに適しているか。など <p><聞く人></p> <ul style="list-style-type: none"> ・工夫していてよい点。 ・改善点へのアドバイス。など <p>3 報告の内容について話し合う。</p> <p>(1) それぞれの良い点と改善点を付箋紙に記入し、ポートフォリオに貼る。</p> <p>(2) 目的に合ったエコバックはどのようなものがよいか、意見交換を行い、各班の意見を全体で発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工夫のある作品から考える。 ・改善点のある作品から考える。 ・自分の作品から考える。 <p>4 本時のまとめをする。</p> <p>(1) 友達の見意をもとに、自分の作品の振り返りをする。</p> <p>(2) 目的に合ったエコバックは、どのようなものが適しているかまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれが製作したエコバックを見せながら、家庭で活用した結果を話し合えるよう、報告書ができていることを確認する。 ・報告会にあたり、その視点を考えさせてから、発表を行うようにする。 ・4～5人グループを作り、司会を決め、発表の順番を決めてから報告会を行うよう指示する。 ・発表を聞いている生徒は、付箋紙を活用し、赤付箋紙には工夫点や感想を、青付箋紙には改善点やアドバイスなどを記入しながら話を聞くように支援する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>《評》 製作したエコバックの工夫点や改善点について考えている。 (生活を創造し工夫する能力：発表、ポートフォリオ)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人のポートフォリオに付箋紙を貼ることで、それぞれの工夫点や改善点が分かりやすくなり、スムーズに話し合いが行われるようにする。 ・意見がまとまらない班には、詳しくまとめた班を意図的に発表させることで、手本を示し、意見をまとめられるようにする。 ・目的ごとに発表させることにより、どのようなエコバックがよいか考えられるようにする。 ・全体で発表するときには、生徒の作品の写真を拡大して見せながら行うことでより分かりやすく伝えることができるようにする。 ・話し合いや付箋紙の他者評価から、自分の作品を振り返り、考えがまとめられるように時間を十分に設ける。 ・エコバック製作を通して、買い物に行くエコバックとしてどのようなものが適しているか自分の言葉でまとめられるようにする。